

MONTHLY MAGAZINE

2001年5月1日発行 毎月1回1日発行 第40巻 第5号 通巻480号 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可

KOBECCO

May 2001 No.480

月刊神戸っ子5

Outdoor & Natural Life

ミッド・センチュリーの遺物たちと戯れる

ヴィンテージ・キャンプ

トレッキング初体験

Town Report

in 六甲・御影・岡本

かわいーい、ステキを見つける

春色、夏色 神戸っ子ご用達ショップ



Kinoshita Pearl Kinoshita Pearl Kinoshita Pearl Kinoshita Pearl Kinoshita Pearl Kinoshita Pearl Kinoshita Pearl Kinoshita Pearl Kinoshita Pearl



PEARL COMMUNICATION



kinoshita
pearl

パールサロン神戸

神戸市中央区山本通1-7-7(北野坂)

TEL.078-221-3170

FAX.078-221-9427

さりげなくあなたの元へ。



JEWELRY タジマ

神戸市元町2丁目TEL.078 (331) 5761

21世紀の神戸と共に歩む

水野 民郎

神戸ハーバーランドニューオータニ
常務取締役総支配人



月刊神戸っ子さん、創立40周年おめでとうございます。
一口に40年と言っても色々なご苦労があったと思います。

私ども神戸ハーバーランドニューオータニは、今年で開業9年目を迎えております。もちろん、この9年間の間にも様々なことがありましたが、神戸っ子さんから見ると、まだまだ歴史の浅いホテルでございます。神戸のタウン誌として確固たる存在である神戸っさんに負けないよう、ニューオータニグループの総力を結集して来年の10周年、そしてまた20周年と歴史を積み重ねて参りたいと思います。今後も神戸の発展の為に、力を合わせてがんばっていきましょう。

大学も、タウン誌も市民とともに

小室 豊允

姫路獨協大学 学長



姫路獨協大学は、「地元で総合大学を」という市民の熱望を受けた姫路市と120年の伝統を誇る獨協学園との我が国初の公私協力方式により、1987年に開学した。

私は、市民の力でつくられた姫路獨協大学で「学生と市民がともに学ぶ」という姿をぜひ実現したいと思っている。本年後期からは、評論家の竹村健一さんやNECの関本忠弘さんなど多数の本学特別教授により、学生とともに市民にも開かれた講義「現代社会論」を開講する。

創刊40周年を迎えられた月刊神戸っ子が、シティマガジンとして神戸市民とともに歩まれることを期待したい。

KOBE 神戸ハーバーランドニューオータニ



お迎えします。人と心にやさしいおもてなし。

JR「神戸」より徒歩2分 阪急・阪神・山陽「高速神戸」駅より徒歩4分
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-3-5
TEL.(078)360-1111 FAX.(078)360-7799
<http://hrt.newotani.co.jp/kobe/>



学園創立120周年

獨協学園グループ

獨協大学 獨協医科大学 姫路獨協大学
獨協中学・高等学校 獨協埼玉中学・高等学校



姫路獨協大学

外国語学部・法学部・経済情報学部・大学院

姫路市上大野7-2-1

TEL.0792-23-2211

URL://www.himeji-du.ac.jp

祝 月刊神戸っ子 40周年へのメッセージ

ともしつづけよう 神戸の灯

呉 信就
南京町商店街振興組理事長
民生広東料理店



創刊40周年おめでとうございます。「月刊神戸っ子」は神戸の魅力・価値を市内外にアピールできる媒体として、これまで尽力されてきました。その活動に敬意を表します。

南京町では、神戸21世紀復興記念事業の一環として、7月19日より南京町21世紀・花と光の復興祭・夏の部「福光祭」がスタートします。光に包まれる南京町で、元気な神戸を、訪れた皆様に印象づけたいと思っております。

これからともに手を携えて、神戸のまちに消えない灯をともしつづけていこうではありませんか。

おいしい中華をご家族で

民生広東料理店では、本格的な中華料理をお求めやすいお値段で用意しております。ご家族みなさまで、本場中華の味をご賞味ください。



民生

民生広東料理店 神戸市中央区元町通1-3-3
TEL.078-331-5435

神戸の活性化を共にめざして

稲原 作次郎
KOBE三宮センター街PR委員長



タウン誌月刊神戸っ子40周年おめでとうございます。ハイカラな神戸の街のイメージづくりとまちづくりをとがんばってきた神戸っ子。三宮センター街も震災後、明るく国際色豊かな“シャンテ神戸”を企画し、本場ニースからカーニバル人形を招いて、神戸の活性化を計って参りました。またニースの商店街とニューヨークの5番街とも姉妹提携し、ハイカラ神戸の特性を発揮しています。神戸の玄関口として“安心”と“清潔”をキーワードに、彫刻や花壇づくりを行いホスピタリティに気を配ったまちづくりを願っています。

三宮でアート散歩に出かけよう!

三宮アートストリート構想



未来にゆく者たちへ



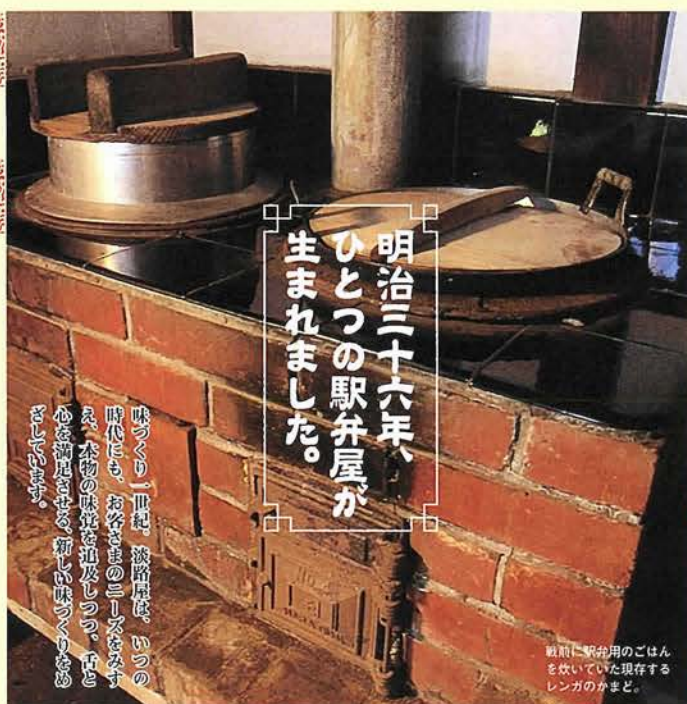
水のある星

三宮センター街と生田筋の交差点に、3体の彫刻があるのをご存じでしょうか?「讃太陽」「未来にゆく者たちへ」「水のある星」と名づけられたこれらのモニュメントは、世紀の節目を記念して設置されたもの。それぞれに未来への希望が込められています。さらに、2001年7月には「花の少女」という名の新しいモニュメントがお目見えします。今後、センター街を中心とする三宮一帯に、アートを身近に感じることができるとする散策コースを整備していく予定。お楽しみに!

インターネットで
三宮の最新情報にアクセス!
シャンテ神戸
<http://www.chantez-kobe.com/>
神戸三宮センター街1丁目商店街振興組合
TEL (078) 331-3548

AWAJIYA
SINCE 1903

季節のおいしいメニューが
充実のお弁当ラインアップ。
和風、洋風、中華風と
バラエティゆたか。
四季折々とりどりの味を
たっぷり満喫いただけます。
いつでもどこへでも
あなたのお供に……。



明治三十六年、
ひとつの駅弁屋が
生まれました。

味づくりに一世紀。淡路屋は、いつの
時代にも、お客さまのニーズをみす
え、本物の味覚を追求しつつ、心と
心を満足させる、新しい味づくりに
まなびを注いでいます。

戦前に駅弁用のごはん
を炊いていた現存する
レンガのかまど。

名物駅弁

幕の内・松花堂弁当

電話でご注文を承ります。

☎(078) **431-1682**

ご指定の時刻に
ご指定の場所にお届けいたします。

あっちっち弁当



お弁当の
株式会社

淡路屋

〒658-0025 神戸市東灘区魚崎南町3丁目6番18号 FAX (078) 431-1681 TELEX 5622-609

花咲く島のコンファレンス&リゾート



淡路夢舞台国際会議場

この5月、「第19回インターアクション・カウンスル（OBサミット）総会」会場となる「淡路夢舞台国際会議場」は豊かな環境に恵まれた絶好のロケーションで、最高の成果を達成できる会議空間をリーズナブルな価格でご提供します。「ウェスティンホテル淡路」宿泊料の割引プランや「国際会議開催助成金」、無利息の貸付金制度もあります。

■お問い合わせ・ご予約は
兵庫県立淡路夢舞台国際会議場
〒656-2301 津名郡東浦町夢舞台1番地
TEL (0799) 74-1020 FAX (0799) 74-1021
ホームページアドレス <http://www.yumebutai.org>
Eメール info@yumebutai.org
管理運営(財)兵庫県国際交流協会

(財)兵庫県国際交流協会

草の根の国際交流推進拠点である(財)兵庫県国際交流協会(HIA)は、平成2年4月に兵庫県によって設立された団体です。“交流と共生”の21世紀の幕開けにあ

たり、この10年を振り返り、これからのあり方を考える10周年記念誌「交流と共生の21世紀へ」を発行いたしました。ご希望の方には、協会事務局でお分けしています。

HIAの10年誌ができました

■お問い合わせは
〒651-0073
神戸市中央区臨浜海岸通1丁目5-1
国際健康開発センター2階
TEL (078) 230-3260 FAX (078) 230-3280
ホームページアドレス <http://www.hyogo-ip.or.jp>
Eメール hia@net.hyogo-ip.or.jp



言霊に癒される あの日のあの時を綴った 未曾有の阪神・淡路大震災

二十人の作家たちのアンソロジー

陳舜臣 司馬遼太郎 小松左京 宮本輝
玉岡かおる 時実新子 阪田寛夫 黒岩重吾
藤本義一 田辺聖子 筒井康隆 安水稔和
高村薫 阿久悠 淀川長治 齊藤栄
村松友視 瀬戸内寂聴 五木寛之 山崎正和

書き下ろし

陳舜臣「ため息つきぬ
藤本義一「三つの間の維持」

写真 立木義浩 小林正典 米田定蔵 米田英男

作家たちの大震災

阪神・淡路大震災 1995.1.17

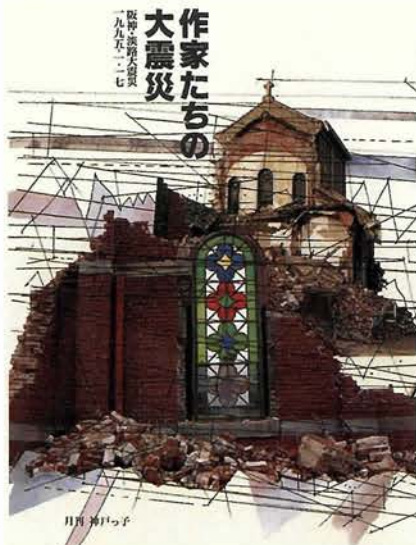
絶賛発売中!

発行・発売/月刊神戸っ子

全国有名書店にて販売

定価/本体2000円+税

問い合わせ先/月刊神戸っ子 ☎078-331-2246



作家たちの大震災

阪神・淡路大震災 一九九五年・一・一七

月刊神戸っ子



田辺聖子



陳舜臣

天から贈られた宝もの

二人のラッパ吹き・人・肩車
岡井美穂 作 陶立体



イタリアの地にアトリエをかまえ10年。
仕事場のひとつは町なか。
あとひとつはゆるやかな丘陵地帯にある。
町では午前中いっぱい露天市が立ちならび、活気があふれる。
一年をとおして、お祭りのざわめきも聞こえてくる。
一方、丘では人をめったに見かけない。
ときおり、カモシカや野ウサギが驚くような速さで駆けていく。
そんな中で生まれてくる作品たちは、
まさに天からの贈りものだ。
大きな窯をゆっくり開けると、思いもよらぬモノたちが、
わたしに話しかけんばかりの面もちで
とつぜん、現れてくる。



岡井美穂 おか い み ほ
造形作家。イタリア・フアエン
ツァ在。1965年神戸生まれ。
京都市立芸術大学美術学部卒。
芦屋芸術学院勤務を経て90年、
イタリア国政府官費留学生とし
て渡伊。フアエンツァ国立陶芸
美術学院卒後、アトリエ・陶工
房をひらく。イタリアの素材よ
り独自の世界を表現。著書に
『ボスコ通りの靴音』がある。

<http://www.acfa.net/miho>

■岡井美穂 絵と陶展

2001年5月12日(土)～5月24日(木)

ギャラリー島田

TEL・078・2692・8058

<http://www.gallery-shimada.com>

21st.century
——光と花、そして夢——

第5回 市川 京子



「植物誌」うつぼかずら



いちかわ・きょうこ
＜画家・二紀会同人＞
神戸市東灘区在住

美しい花びらを揺らせて蝶を誘い、妖しい香を放って虫を呼ぶ植物たち。地球上の30万種の植物は、様々な環境の中で逞しく、したたかに生きている。その姿に、どんな社会にも馴染み鮮やかに生きぬく女性を重ねてみよう。「植物誌」シリーズは、そんな草花と女性たちの記録にしたい。

“ベシティバンクかんしん”は「共感・対話・信頼」を企業理念として、地域の文化・芸術の育成に努めております。

この“かんしんストリートギャラリー”も芸術の香りをほのかに漂わせたアートのスポットとして、本年は「21st.century—光と花、そして夢」と題したシリーズで様々な作品を紹介してまいります。



生田新道に面したストリートギャラリー



kansin

ふれあいウェーブ—ベシティバンク

関西西宮信用金庫

神戸市中央区下山手通2丁目12-3 〒650-0011
PHONE (078) 332-5151 (代) Fax (078) 333-9874
<http://www.kansin.co.jp>

●OUTDOOR & NATURAL LIFE●

ヴィンテージ・キャンプ

ミッド・センチュリーの遺物たちと戯れる 12

サーフィン

バリ島ウルワツのパーフェクトウェイブに乗る 16

シーカヤック体験記

スモールな感覚でできるビッグなマリンスポーツ 18



トレッキング初体験

トレッキングで見つける六甲山の自然 20

はじめるならここに行け! 神戸のアウトドアショップ 24

第8回 大阪アウトドアフェスティバル 2001 29



座談会

「海と生物と海人たちの夢物語」 58

寺本 晃 アレックス・楊 山本 聡 蛭名うらら

●Town Report in 六甲・御影・岡本●

かわいーい、ステキを見つける

春色、夏色 神戸っ子ご用達ショップ 32



●TALK●

座談会 地下鉄海岸線7月7日開通

「市民の夢を乗せて “夢かもめ”GO!」 42

大東寛治 原仁美 山形昭正 末積隆夫 松本勝利 田中辰夫 上田司郎

小室豊允夢対談 新世紀を語る

「地震と教訓をいかして 安心して暮らせるまちに」 44

西川靖一 (神戸市住宅局長)



●連載●

Prismes Art2

「天から贈られた宝もの」 岡井 美穂 8

連載小説

「化石のまちにふる雪」 藤谷ケンシ 86

●SERIES●

●神戸のお嬢さん／森井彩さん 宇都慶子さん 38

●神戸っ子2001／中川 孝 高島美乃 52

●コウベスナップ 54

●ある集い／MTガイド倶楽部 56

有馬温泉観光協会青年部

●キャンパスマガジン 松蔭女子学院大学 62

●ひらけ大観劇「オペラって最高にブラボー!」 64

●有馬歳時記「春らんまんのさくらまつり」 66

●コウベタウン／長田発3000円で自転車! 腕自慢のバーテンダーの競演 神戸の空を舞うラジコンの祭典 荒ぶる男たちの魂の叫びを聞け 68

●ポケットジャーナル 72

●ビットイン 74

●神戸っ子おすすめの本 75

●メディカル「嚥下障害の夫とともに」／永田典子 76

●イベントスケジュール May 78

●竹久夢二 愛・旅・恋ものがたり

「ゴシップで夢二 人気凋落」／中右瑛 82

●海船港「潜水艦「まきしお」引渡式」 84

●神戸JC新世紀インタビュー④／松尾章弘 90

●プレゼント 91

●神戸百店会 92

●神戸うまいもん&ドリンキング 94

ミッド・センチュリーの 遺物たちと戯れる。

好きなものやこだわっているものを探してきて、
遊びの道具に使う。それは好きな絵を部屋に飾るのと同じこと。



ヴィンテージランタンは、川原に憩う僕らの夜を、ほどよい明るさとやさしさで神秘に灯してくれる。ランタンにガスを満タンに入れる。こいつは日が落ちてから、空が薄明かりに包まれる翌朝に消える。だけど消えるときがいい。ポツと点いて消えて、又ポツと点いて消える。まるで線香花火のようにポツポツポツポ、ガス欠ですよ、あとはボンピングいりませんよと言ってるように。そして最後にポーと燃えて消える。その最後が美しい。そして次の朝が始まる。

最近のランタンは確かに明るいし点火も簡単だ。でも、僕には味気なくて魅力がない。夜は暗いのが自然だから、飯を食べるとき、フォークやナイフがどこにあるかわかるぐらいの光でもいい。古い道具だから手こずることもあるが、昔のランタンの光りのほうが快適で気持ちがいい。

その光りの秘密は霧状に気化したガソリンが、ガラス繊維のマントルに溜まって、それが燃える。圧縮すると熱が加わって余計ガスが霧状になる。細かな霧状になればなるほど小さな光りの固まりが集まって、微妙な美しさで灯っているというわけだ。

完璧なランタンは楽しくない

僕の楽しみ方のひとつとして、手にいれて始めてキャンプに持って行って、現地でああでもないこうでもないって直すことが楽しいのだ。ランタンはたくさん持つていく。点かないのがあっても、部屋で実験するより、現地で始めて試してみるほうが面白い。決定的な間違いがわかれば、それは家に帰っての楽しみにもなるだろう。

ヴィンテージ物にはまっっていく

決して僕は懐古趣味ではない。いいモノを使いたいというだけだ。古いものに



テーブルと椅子とウオータージャグ コールマンのフォルディングテーブルと椅子のセット。テーブルセットはレアなもの。清涼飲料水や水を入れるウオータージャグ



コールマンストーブ MODEL 425 (1940年代) 丸タンクで1948年のパーツカタログにすでにあり、ファーストモデル。ツーパーナーのストーブは同時に二つの料理ができる優れモノ。ABERCROMBIE & FITCH1956のカタログに掲載されている425Bは3時間の使用に耐え、当時13.95ドルで販売されている

興味をもったのは、バンド仲間のやつさんがキャンプ道具がどうやこうやと言いだしたときだ。彼が持つてるスポーツスターという丸っこい形の525のストーブを見たときだった。あきらかに僕が持つたピークワンの新品ストーブより、やつを使い込んだストーブのほうがかっこよかった。男やたらどっちがかっこええかというたら、やつさんの古い方がかっこよかった。どっちがかっこいいかを確信したときから、ヴィンテージ物のよさを発見するきっかけになった。

アメリカの情報をいかに早く知るかが、僕らの遊びだったのに！

道具への憧れのなかに、米軍の払い下げ品のかっこよさがあった。元町のサト



▲生のコーヒー豆を、焦げ目がつくまでフライパンで煎り続けた。石の上で細かく砕いてパーコレーターへ。ガラス部分にあがってくるコーヒーの色で好みの味が楽しめる。コグランのパン焼き器は、昔からあって今も定番のベストセラー。パリッと香ばしいパンを味わえる
▶上から、BUCKの119、ドイツ製ナイフ、ルアーで有名なパラのフィッシュナイフ、紙ぎナイフ、60年代のドイツ製ナイフ、70年代のBUCK112、シュレイドのフォルディングナイフ



ウブラザースや神戸の高架下も魅力的だった。自分たちがあちこち歩いて探るのが当然だったが、80年代以後メディアがその分野のことをすべて吸収して情報を与えてくれた。「ポパイ」のプレ創刊号が高3のときに発売された。こんなこともバラした、あんなこともバラしたって感じだった。その前に出た「MADE IN USA カタログ」では、ハードに對する思い入れかたを教えてもらった。やつさんは神戸のレモンという店へダウンベストを買いに行った。その主人がフライフィッシングやルアーフィッシングが好きだったようで、ノースフェイスとかケルティとか、そのカタログに載ってるのと同じダウンベストがいち早くあった。

古い道具を使ってどこまで本格的な料理ができるかと、スペイン料理のバエージャ、トルティージャ、ケイジャン料理のひとつ、ガンボスにチャレンジ。使用器具は、コールマンのシングルとツーパーナーのストーブ。バエージャ鍋が大きいので一台を占領。火力が二つなので、たえず鍋をくるくる回し焦げつかないように注意が必要だ。ガンボスには、エビ、鶏肉、タイのあら、野菜、米、缶詰のフイヤーベスを鍋でじっくり煮込み、塩、オクラ、トウガラシを入れる。何でもぶっこんだので濃厚スープが誕生した。そこがまた大胆かつ野生味あふれる野外料理の醍醐味といえる。

ツーパーナーで作る豪華野外料理

古い道具を使ってどこまで本格的な料理ができるかと、スペイン料理のバエージャ、トルティージャ、ケイジャン料理のひとつ、ガンボスにチャレンジ。使用器具は、コールマンのシングルとツーパーナーのストーブ。バエージャ鍋が大きいので一台を占領。火力が二つなので、たえず鍋をくるくる回し焦げつかないように注意が必要だ。ガンボスには、エビ、鶏肉、タイのあら、野菜、米、缶詰のフイヤーベスを鍋でじっくり煮込み、塩、オクラ、トウガラシを入れる。何でもぶっこんだので濃厚スープが誕生した。そこがまた大胆かつ野生味あふれる野外料理の醍醐味といえる。



●右からタイ風春雨サラダ、ガンボス、バエージャ、トルティージャ、ピクルスやレモンも添えて。バエージャはスペインでも野外でよく調理される。魚介、鶏肉、野菜、米などをサフランスープで炒め煮する。火が通ったら、最後にインディカ米を使用。最後にパーコレーターに入れたコーヒーを飲むと、なぜかホッと休らぐ

それまで僕はサーフ
アーでやっさんはミ
ュージシャンだった

やっさんと僕は大学
のころ地元の喫茶店で
知りあった。キャンプ
好きのやっさんが山関
係の本を読んでいたら、
僕の田舎の三重県のす
ごく山奥に、バスがい
ることが判明した。そ
れが僕らのキャンプとバス釣りへのアプ
ローチとなった。それまで僕はアメリ
カ南部の音楽をバンドを組んでやってい
た。とにかく南部が好きで、バス釣りは
南部の遊びだと解釈して、単にそれだけ
でバス釣りをやろうと決めた。どんな辺
りなところへ行っても、日常とかわりな



古いランタンは今のランタンと違って儀式が必要だ。ジェネレーターの調子や気温によっては、ガソリンが気化しないでホヤが真っ黒になることもある。そこでまずホヤをはずして点火の状態をみることから始まる。コールマンランタンのご機嫌をみながら火を灯す道前君



当然、釣りもする。アルミ製ではない最新のバスボートをわざわざトレーラーで運んでいった。僕らにとってキャンプは釣りをするための目的と手段の関係だった。

ミラー社のプレミアムベンチシートクーラー（1950年代）



く優雅に過
ごすのが、アメリ
カスタイルのキャンプだ
というのがやっさんの持
論だった。それならと、
コールマンのコテージと
いうコットン地で重たい
大きなテントを持ってい
った。そして、地べたで
はなくベッドで寝るのだ。
朝食はパンケーキとカリ
カリベーコンとスクラン
ブルエッグ。アメリカッ
ぽさに憧れていたからだ。



コールマンモデル200A 61年



夕暮れどき、ラグタイムの曲がこの日の想いを深めるように静かに流れていく。1991年ロサンゼルス・サンセットストリップのある楽器屋で、老主人の秘蔵のギターを値切ったとたん、蓋をパッと開められたエピソード付きのギター（1928年生まれのResonator-Guitarはナショナルのトライコーン）を弾くやっさん

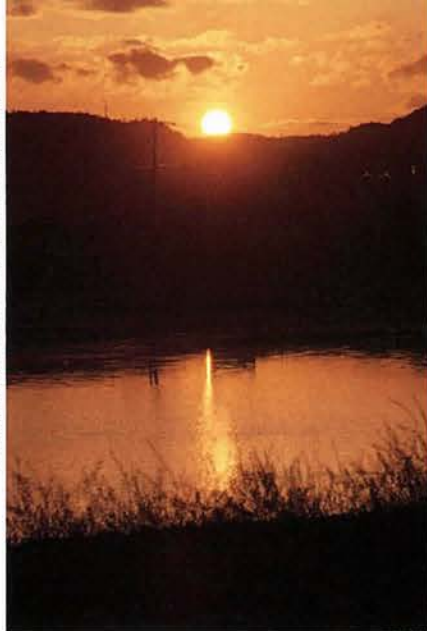


ミッドセンチュリーの セレクトカタログ

60年代後半ごろ。日本では一般的な釣りの手法は竹竿に垂りをつけて、餌もミミズやゴカイで釣りをしていた。一部の人の贅沢な遊びであったルアー釣りも、アメリカでは一般人のライフスタイルの一部だった。ステーションワゴンにカヌーを積んで、大自然のなかでキャンプをして釣りやハンティングをする。A & F社のセレクトカタログには、当時の夢と豊かさを象徴する遊びの道具がいっぱい詰め込まれている。このカタログのすばらしいところは、コールマン社、アプ社、ヘドン社などの由緒正しいこだわり商品しか掲載していないことだ。ルアーひとつをみても、当時の優れた品ばかりが並んでいる。狩猟道具のガンやカービン銃、釣り道具では、オリジナル商品として掲載されているマホガニー仕立てのタックルボックスが42.50ドル。二人用のナイロンテントが107.50ドル。釣り用の服や靴、もちろん登山用品、キャンプ道具など、あらゆるアウトドア用品がある。

A & F社はこのカタログを「The Greatest Sporting Goods Store in The World」と称している。アウトドアをスポーツとしてとらえ、提示していることに注目させられる。

吉井川が夕日で赤く染まるころ、赤ランタンの灯も大膽に融合していく



本場アメリカでほんとうの リゾートを知った

91年には、やっさんと友だち3人で、リゾートの本場へ行ってバス釣りをしよう、ミズーリー州のビッグシダーロッジへ行った。そのスケールの大きさと遊び方にびっくりして、リゾートの考え方の違いを思い知らされた。

どこでも、湖沿いの一軒家には駐車場のなかにボートがある。4時ごろ仕事が終わって夕涼みがてら釣りをしたり、夕飯を終えてから船をだして釣りする。アメリカ人の釣りの仕方はとても自然で生活にマッチしていた。僕らも抑圧された釣りは好まない。わざと古いタックルで釣る。そのプロセスが大切にバスが釣れなくても、道中が美しかったり、フィールドで作った料理が以外においしかったりするのがほんとうに楽しいのだ。



オセージアンのカヌーで「Field & Stream」のごとく、野と川でバス釣りを。アメリカ人にとって釣りはハンティングの延長線上の遊びだった

Outdoor & Natural Life

サーフィン バリ島 ウルワツの パーフェクトウェイブに乗る

どんどん人間が開発の名のもとに、
壊している自然。僕たちサーファーは、
自然のありがたさを忘れず、
次世代へこの波を残したい。

写真提供/ホールドアウト

サーフショップ
「ホールドアウト」オーナー **南野 進**

バリ島への ファーストサーフトリップ

初めてのバリは17年前、灘区にサーファーストリップをオープンした春だった。大阪からの出発便は、東京ジャカルタ経由で週一便しかなくて、丸一日がかりでデンパサール空港まで行った。

当時現地には、日本人も少なく一部のホテル以外、バンガローか、ロスマンにしか泊まらず、もちろん電気などは空港と、クタの一部しかない。シャワーも水しか出ない。電話は、街に2カ所あったと思う。

メインの海へ行く足は、バイクをレンタルし、遠くへ行くときは、乗り合いバスのベモ（軽四の三輪トラック）をチャーターして行動していた。海は外洋なのでウネリがダイレクトに入り、波も日本の台風のときのようにパワーがあり、ウルワツ、ヌサドゥア、サヌール、リーフなど



レインボーガン島に渡るチャーター船上で。浜松のサーファー・カンボウ(左)とSUE・南野(右)

は、特上の波がいつばいあって、ビギナーには、クタビーチ、チャンギー、スランガンなどが乗りやすい波で、今も昔も、海はかわらず、僕たちを楽しませてくれている。



マッシュルームロックのポイント前。木影の休憩地点

2001年4月 バリ島サーフ最新版日記

4月3日

関西空港からGA882にて、バリに出发。6時間のフライト後、デンパサール空港に着いた。現地時間午後5時。(時差はマイナス1時間) 出迎えてくれたのは地元プロサーファーで、ティビー・ジャブリック。5年ほど前からのつきあい、古くからの友人リザール・タンジュン(バリのプロサーファー)に紹介された。

ティビーは「スーチャン、私のボードは。」と聞くのでまだできていないことを伝えると少しガッカリして

いた。私に会うことより、自分のボードをピックアップするつもりでやってきたようだ。

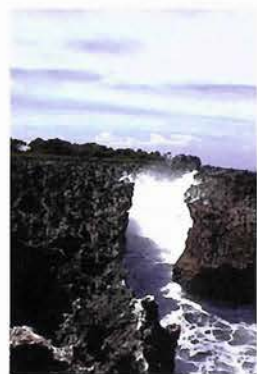
4月4日

まずホテル前のビーチをチェック。波は小さめのコシムネ。このサイズだとウルワツの波はそこそこあるはず。急いで車にボードを積み込みウルワツへ向かった。やはりセツトで4フィートはあり、ブレイクが少し早そうにみえたが、それより驚いたことは、車と人の数が日本のどこかのメジャーポイント並みとなっていた。

波に乗るのも大変で1ピークに20人はいる。おまけにセツトくらった



ヌサダアの浜辺。カヌーに乗ってポイントへ行く前に。ホールアウトのチームたち



ヌサダアとマッシュルームロックの間のシークレットポイント

らヤバイ、最悪！バドリングも冬の間少しなまってるので1ラウンド目は少ししか波に乗れず、ビーチへ帰ってもう1ラウンドすることに。ビーチは雨期にたまったサンドバーが波をつくっている。

4月5日

朝夕がハイタイドなのでビーチでバトリングのリハビリをかねてサーフィン。夕方に少しサイズアップしてきたので、明日もう一度ウルワツへ行くことにした。

4月6日

早朝だったのでサーファーは少ない。いい波に乗れた。サイズは5〜6フィート。センターピークからテイクオフ、1回チューブになりそこから加速してフルスピードでコーナーへ。ここでもう1度チューブになり、ブルアウト。約30m〜50m位走れる。最高！

少し潮が引き、込み返しサイズUPし、コーナーでパーフェクトなチューブになることをみんなウルワ

ツ大好きサーファーは知っている。リザール・タンジエンがやってきた。3ヶ月間ハワイのノースで修業して、そのあとオーストラリアにコンテストに行き、2日前に帰ってきたそう。深いボトムターンリップング、加速、そしてコーナーへのデーパーなチューブライディング。すごい！ウルワツの波を知り尽くしている。明日はクタリーフに行くう！本日終了！

4月7日

朝、いつものビーチチェック。やはりサイズアップ。潮目を見て、クタリーフのカヌー乗り場へ。

SUE「スラムットベギカトラ」カトウ「アバガバル」

「いつ来た！」

またいつもの挨拶。

カヌーでポイントに着くと、まだ朝の8時なのに、10人ほどがサーフ



夕食はケチャダンスを観ながら

インをしてる。リーフポイントにはポイントブレイクのルールがあり、少しずつピークへ行き、だが、どこから乗ってくるか？ ビジターか？ 必ずチェックする。

このポイントは波は少し柔らかく、ブレイクスピードもややメロー。こんな時は、ガツガツ乗らずに、のんびりリラククスサーフィン。セツトの数が多いいしく乗れる。

帰りに全身マッサージ。バグース。

4月8日

次の日、チーム員がバリに来ていたので、ウルワツに連れて行く事にした。

ウルワツはバリ島の南の先にある。波にパワーがあり、上級者オンリーのパーフェクトウェイブが押し寄せる。このポイントでもう何本ものサーフボードを折っている。

サイズはダウンして2〜3フィート。バリニーズが「SUE、友だちのボードが折れたよ」と教えてくれた。足を引きずりながら、きたのを見ると、引つ掻き傷で、浅い。安心した。

南野進みなみのすむ

1961年7月27日生まれ。サーフショップ「ホールアウト」オーナー。バリ島を中心にサーフィンツアーを組んで自らも現役サーファーとして日本とバリを往復する日々。サーフィン・スノーボードのインストラクター及び、公認大会のジャンプなどの指導者でもある。

シーカヤック
体験記

スモールな感覚でできる ビッグなマリンスポーツ

写真/増本僚司 協力/浦田哲也



暖かくなってくるとなぜか海が恋しくなってくる。
一足先に海遊び、マリンスポーツをしよう。

初めてのカヤック体験

アウトドアプロショップのPSKのハーフディ・シーカヤック体験をするため、香戸園浜へ向かった。

この日自分で用意したものは、Tシャツと帽子だけ。後のものはすべて、ショップが用意してくれた。この日のインストラクターの浦田さんは、カヌー歴8年の経験豊かなシーカヤッカーだった。毎週、日本海や四国・徳島などでシーカヤックを楽しんでいる人である。同行カメラマンの増本さんもカヤックに乗るのは初めてだ。増本さんに無理をしてもらいカヤックに乗って、3艇で海遊びに出発ということになった。

まず最初はやはり準備体操。神妙な顔でカヤックに乗り込んだ。春の穏やかな日差しがあっても、まだまだ海水は冷たい。水に濡れるには少し抵抗があった。

海に座ると景色が変わる

乗った瞬間、水上の乗りもの独特のやさしい揺れが心地よい。ゆつくりとカヤックを漕ぎ出してみた。海の上では視界がワイドなスクリーンのように流れ、冒険をしている気分になって昂揚した。

パドル（漕ぐこと）を思いっきり

早くしたり、ターンしたり自由自在に遊べる。浦田さんは正確な動きで漕いでいた。

「どこかい景色、ないですか？」
「じゃあ沖に出ましょう」

と浦田さん。

シーカヤックは、海・大自然をそのままカラダにしみ込ませてくれる。しかし、海に出た以上、海上での判断をすべて自分の責任において行なわなければならない。初心者にはインストラクターに、ナビゲーションしてもらいシーマンシップを教えてもらう。そして理論と実践によって少しずつ経験を積み重ねていく。このように成長していくと、シーカヤックは、人間の力でとてつもない距離を航海できる無限の可能性を秘めている。インストラクターの浦田



長さ約5m重さ約25kgのカヤック。これが今日の海へ我々を海に導いてくれた



はやる気持ちを抑えつつ。インストラクターの浦田さん(右)に説明を受ける



パドルを持つときは肩幅より少し広げて上になる手で押す



ストレッチ運動は入念に。使う筋力は腰からうえ

さんによるとシーカヤックで垂水から淡路島まで3時間で行けるそう
だ。
1時間半はドライディングを楽しむ
んでから今津浜に上陸。ここは、海
水の流れがいい所なので、とても水
が澄んでいた。
無我夢中で海面に顔をだす
ここでエスキモーロールの練習を
しようということになった。エスキ
モーロールとはカヤックでバランス
を崩したとき逆さまになってしまっ
たので起きあがるための方法をいう。
カヤックをロールして、水中で体を
捻りながら海底に向けてオールを水
中でたたきつけると、水圧とカラダ
の捻りのエネルギーで水面に戻るこ
とができる。
1回目は、浦田さんに岸辺で、ロ
ールしてもらい起き上がろうとした
が、水の中に入るとコーティングして

もらったことなどすっかり吹っ飛ん
で、ただ海面へガムシヤラに浮上し
ただけであった。結構キツイ。
2回目は、自分でロールするため
に、パドルをした瞬間、いきなりパ
ランスを崩し、ひっくり返ってしま
った。いきなりのことだったので、
パニックになってカヤックから脱出
することしか考えられなくてたば
たついていたという感じ。足はポー
トに引っ掛かったまま。それから何
度か海上と水中をさ迷いやつと脱出
に成功した。
足がついてよかったと海底に足を
つけると、そこはヘドロの海底だっ
た。けれどもこういう体験はなか
かできないので、素直に感激した。
「こういう体験は積んだ方がいいで
すよ」と浦田さん。初心者には、すぐ
には成功しないらしい。
シーカヤックは、アドベンチャー
感覚あふれるスポーツでありなが



カヤックに乗りこみ、水の浸水を防ぐためスプレースカートを
つける



今津浜を経て香戸園浜へ。いっば
しのカヤッカーになった気分



スイスイと海のうえを滑るよ
うにカヤックを漕ぎ出した

ら、手軽に楽しめるマリンスポーツ
である。
(本誌・大原)

■お問い合わせ先
アウトドアショップ「PSK」
尼崎市昭和通8・274
06・6418・9333

カヌー・ボランテニア団体「笹舟クラブ」
震災遺児や障害者の方々をカヌーに乗せ
てその楽しさを伝えている。年に5回ほ
ど実施している。
只今ボランティアを募集している。
事務局は「PSK」内。

エスキモーロールの練習は一番厳しくて死ぬ思い
でも刺激的な体験